

言ふべき最新の考案であつて、今や各地に其の計畫があるやうであるが、本事業は其の先鞭を着けんとするものゝやうである。

思ふに此の種の計畫は、運輸交通の進歩と自動車の發達に伴つて、今後着々として各方面に企てられる事と考へる。道路改良會に於ても全國の各種の機關と連絡を取つて將來自動車専用道路を建設して有利に經營し得るやうな見込のある箇所を調査して、速に之を公表せられたならば蓋し時代に適應する施設ではないかと思ふのである。

(了)

道路使用の心得

道路改良會評議員

門野重九郎

前年濠洲に旅行したる時、ニューサウスウエールズ州にて從來の車馬通行は左側人は右側通行なりしを其日より人車馬共に左側通行即ち我國と同様に改めたる日偶々シドニー市に居合せたるが、永年右側を歩き居りたる市民が急に其の朝より左側となりたることとて新規則を覺込み之を守

らむとする人々も遂に習慣性の爲めに舊規により知らず、に右側を歩む兩種の人々にてシドニ
ーの銀座通りもいふべき大街の歩道幅九尺位を覺ゆの衝突混雑は旅人たる私には一種の興味を
以て滑稽味を以て傍觀したるが歩行者の相互間には何等の口論争鬭をも惹き起さず笑聲大街に充
つても評すべき有様にて後數日にして新交通法は滑らかに行はれたのを私自身實見した。

我國でも人車共に左側通行は一同が慣れて來て先づ大體に實行されて居るが年々共に殆んど左
側を通らねばならぬとの考も無く無意識に之を守る様になる事と思はれるが道路幅の完全なる利
用につき道路使用者の心得が未だ甚だ不充分である、私が申す意味は車道でも歩道でも其の幅の成
る可くは全部が其の目的即ち車か人かかの通行に用ひられる可きであるのに其の幅の或部分が
交通を妨げられ其の有効幅を四分ノ三となす時又場合に依りては一時的ながらもゼロとなす事
ある、圖を以て示せば最も明かであるが二メートルの歩道で二人の知人が出會して挨拶をする此二
人が婦人である時は其のお辭儀が前後三回か五回で時間も長い此二人が歩道に沿うて向ひ合ひし
て起立して話をすれば此人間の身幅凡三分の一米突丈けが歩道の有効幅を狭める即ち歩道は二米
突であるが其の六分の一は一時的には使はれぬ若し此二人が歩道に沿はずに其の線に直角に向ひ
合ひて立ち話しを初めたとするとお辭儀をする爲めに二人は一米突は離れて立つて居る體の厚さ
が三分ノ一米突宛として二人で三分ノ二米突となる之れを二人の起立間隔の一米突を合すこ
一米突三分ノ二となる即ち二米突歩道は残すところ僅かに三分ノ一米突で小兒か犬位の外は通行出
來ぬ結局は此二人は歩道の使用を妨止する事になる、道の真中で他の妨害を考へず長挨拶の實例は

日々見受ける事である知友に出會し久澗を叙するに決して咎むべきに非ず、唯之をなすには歩道線に沿うて起立するか或は西洋風に長者の方の歩行する方向に歩むべく、道に直角に起立し九十度式お辭儀をなさぬ心得必要なり。

車道の傍歩道との間に小車等を置く時又は車道の傍に自動車等を置く場合に於ても出來得べき丈け車道有効幅を多からしむる心得を要すべく小車と雖も之れを路線に沿ひ寄せ得らるゝ丈け其の片側に置く場合と直角ならずとも或角度をなして置く場合の道の有効幅の差は決して少々に非ず、又道の片側に車又は砂利の小山ある時は之も向ひ合ひて他の片側に車を止めず其の有効幅を保たしむるの心得を必要とすは申す迄もなし。

以上の所謂交通常識は自然に心付かれ來るものなるべし事の大小もなく警察に依るも警察をして人も不足なるべく又民衆と巡查とを成る可く親しけあり理解あるものとなし度き時代に此事の爲めに此兩者の疎隔反感を望まず寧ろ各人が常識を以て交通道徳を進ましむるの心得を緊要とす。